

私立学校、私立専修学校施設の耐震化対策【文部科学省】

施策概要

地震により倒壊等の被害の生じる可能性がある私立学校施設、私立専修学校施設の耐震化を実施

効果

地震による施設被害を防止し、児童生徒等の人命を保護
避難所として利用される場合において、地域住民等の安全を確保

全国的な対策と効果

対策1 耐震改築工事、耐震補強工事等を実施（全国で416事業）

愛知県名古屋市長古屋丸の内学園
名古屋福祉専門学校



既存構造体に耐震ブレースを設置し、耐震要素を付加



対策2 非構造部材の耐震対策の実施（全国で318事業）

私立学校の吊り天井落下防止対策済み体育館等は、3,689棟（H30年度）から4,143棟（R5年度）に増加

埼玉県ふじみ野市
文京学院



3層吹抜けのエントランス空間の天井落下防止対策を実施。弾力のある断熱材を屋根面に取付け、天井を撤去する方式を採用し、コストダウンを実現



5か年加速化対策の効果

施設の耐震性が確保されたことにより、災害時に避難所として利用され、地域住民の安全安心を確保



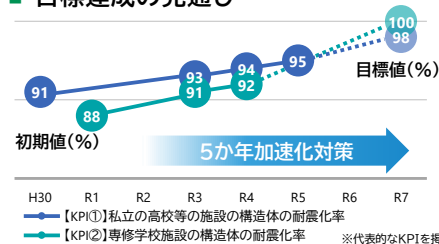
■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
28億円	46億円	56億円
R6	R7	累計
39億円	46億円	220億円

※ 予算額(国費)(加速化・深化分)は、対策番号13-(1)と13-(2)の合計額を記載

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

■ 目標達成の見通し



整備事例

大学大講義室や食堂の吊り天井を耐震化し、学生等の安全確保を図る



学校法人文京学院



埼玉県ふじみ野市



文京学院大学ふじみ野キャンパス大講義室、食堂天井落下防止対策

■ 吊り天井耐震対策



大講義室



対策後



鉄骨部材増設



食堂



対策後



緊結下地材

■ 事業費

2.5億円（うち5か年加速化対策(加速化・深化分)0.8億円）

■ 事業の背景(地域の課題)

埼玉県ふじみ野市に所在する本キャンパスは2千名弱の学生が通っており、首都直下型地震が発生した場合は震度6弱の揺れが想定されています。大空間を有する大講義室や食堂の吊り天井の落下防止対策が未実施であったため、学生安全確保の観点から喫緊の課題でした。

■ 事業の内容

大勢の学生等が利用する大講義室や食堂の吊り天井について、耐震対策(耐震天井に改修)を実施しました。吊り天井の場合、大規模地震に対して安全性は十分とはいえませんが、改修後は十分な耐震性を期待できます。
大講義室については、建築基準法の特定天井に該当していたため、直天井を支持する鉄骨部材を増設し、特定天井に該当しないよう、ぶどう棚による直天井に改修しました。
高さがわずかに6mを下回り、特定天井には該当していませんでしたが、食堂については高天井をクリアランスなしの緊結天井に改修し、耐震性の向上を図りました。

■ 見込まれる効果

今回吊り天井の耐震対策工事を実施したことにより、今後授業、部活等で使用している際に首都直下型地震等(震度6弱を想定)が発生した場合にも、天井材の落下による学生等の負傷が避けられる見込みです。また、施設被害を防止することで、大空間が天井落下により使用ができなくなることが避けられ、教育活動の継続が可能となります。